



MetalsVision

Precious Metals News Sentiment & Macro Analysis

金は2週続落でも高値圏を維持。実質金利低下と非過熱COTが示す「調整優勢の強気」

Gold | 2026-W11 | 2026-03-09 to 2026-03-15

Author: tas @oliebollen84825 | Supported by ChatGPT

Weekly investor briefing. Data sources include Stooq, CFTC, FRED, and Google Trends.

① 今週の一言要約

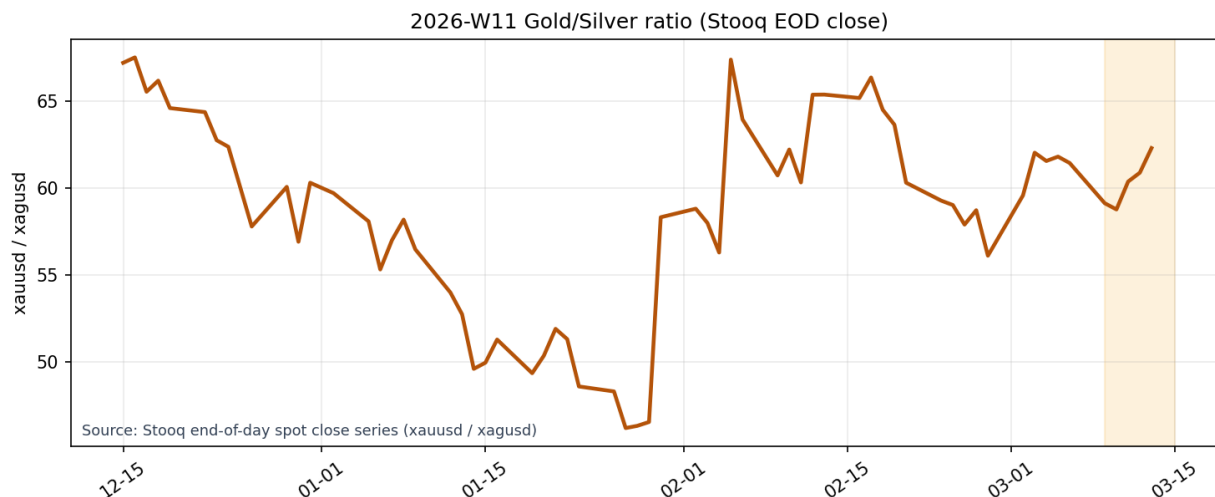
金は週間で下げたが、価格水準は依然として高く、機関ポジションも過熱していない。短期は調整モードでも、ドル安と低い実質金利という土台は残っており、「上昇トレンドの中の押し目」か「調整の深掘り」かを見極める局面に入った。

② 価格動向とチャート振り返り

今週の金スポットはStooq系列の終値ベースで、2026-03-09の5130.46から2026-03-13の5019.83まで下落し、週間騰落率は-2.1563%だった。週中高値は5238.45、安値は5009.83、値幅は228.62で、始値対比の週間レンジは4.4561%と大きい。終値は週初を下回ったが、5000近辺では下げ渋りも見られ、一本調子の崩れというより高値圏での調整色が強い。

ボラティリティはまだ高い。20日移動ボラティリティ（年率）は27.8699%で、過去3年では90.43パーセンタイルに位置する。一方で終値水準は過去3年97.15パーセンタイル、過去1年でも91.44パーセンタイルと高位を維持している。3か月騰落率は16.5921%、1年騰落率は68.1660%で、週次の下落はトレンド反転よりも、上昇後のスピード調整として解釈しやすい。

[Gold/Silver Ratio \(Stooq EOD close\)](#)



Source: Stooq end-of-day spot close series (`xauusd` / `xagusd`).

相対価格も確認しておく。金銀比は **62.2808** で、過去 3 年では **6.08** パーセンタイルと低位圏だが、前週比では **1.3965%** 上昇しており、今週は銀より金がやや強かった。金原油比は **54.2416** で、前週比 **-4.4584%**。WTI 急騰の影響で比率は低下したが、水準自体は過去 3 年 **82.46** パーセンタイルとまだ高めにある。

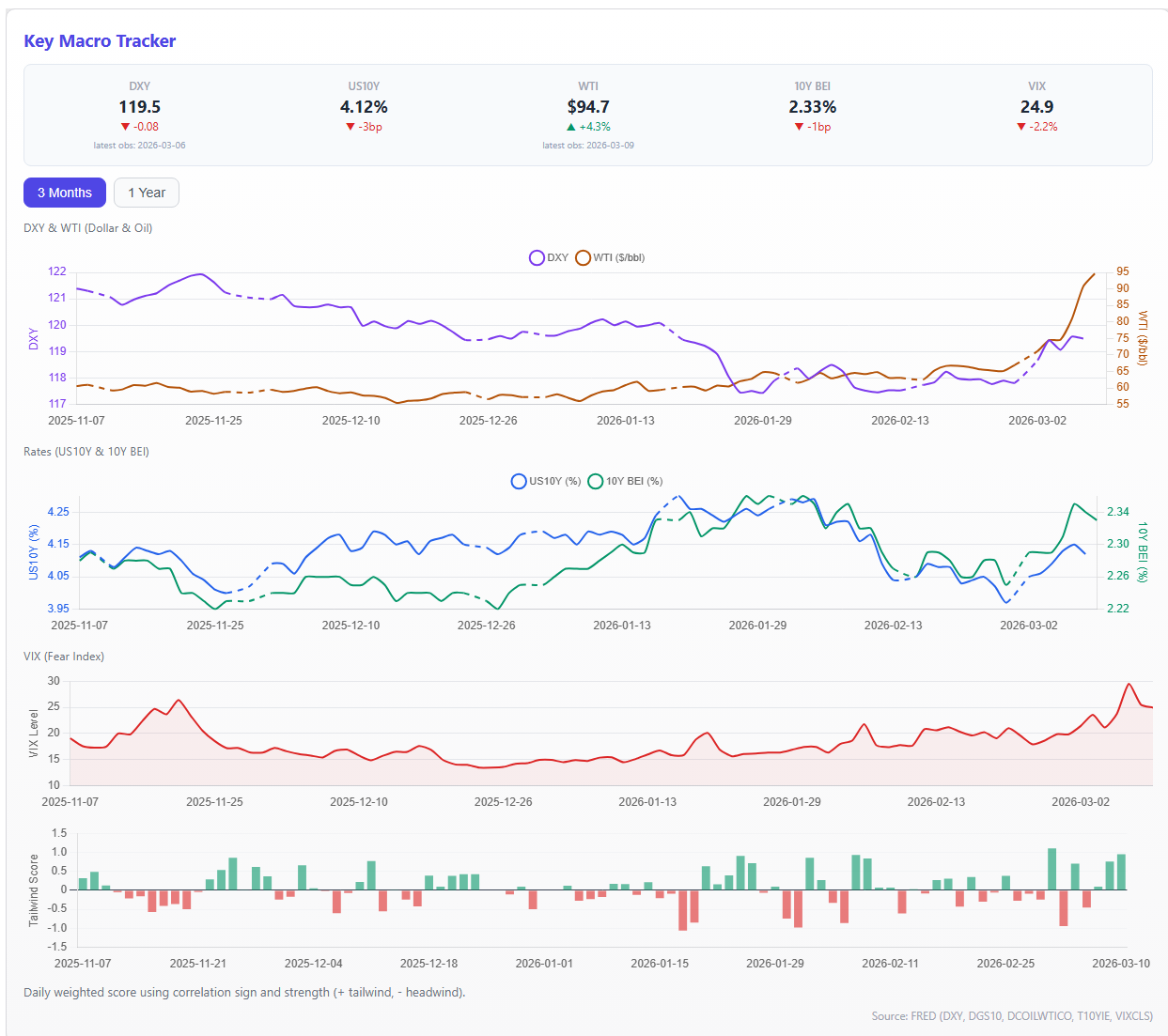
③ 機関投資家の動き

CFTC COT の最新は 2026-03-10 時点で、マネーマネジャーのネットロングは **98399**、前週比では **482** 増だった。ロング **125077**、ショート **26678**、建玉 **413956** で、ポジションは小幅な積み増しにとどまる。価格が高値圏にある割に、ネットポジションの水準感は過去 1 年で **15.38** パーセンタイル、過去 3 年で **28.21** パーセンタイルと低い。

この「価格高止まりに対して投機は過熱していない」という構図は、相場の脆さを抑える材料でもある。需給がロング過密ではないため、急落の引き金となる投げ売り連鎖は起きにくい一方、明確な上昇再開には追加の買い手が必要という状態だ。なお、QQQ に対する 60 日ベータは **0.5408**、相関は **0.2250**。252 日ベータは **0.0474**、相関 **0.0438** で、中長期では株式との連動はかなり小さい。

④ マクロ要因チェック

Key Macro Tracker

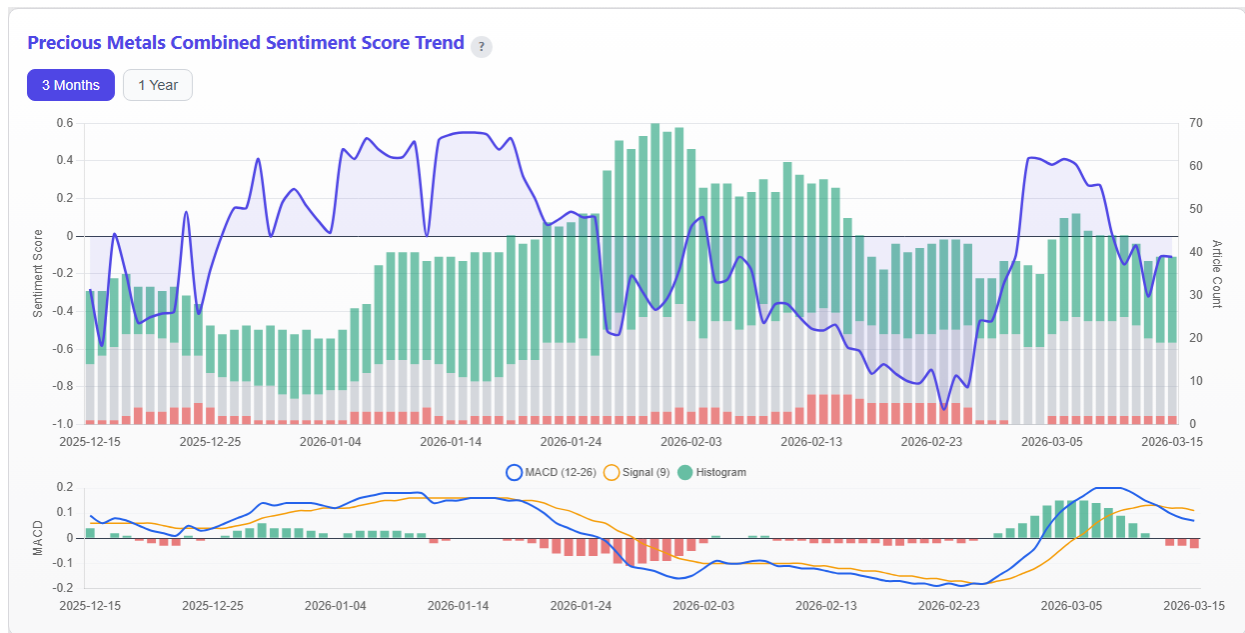


マクロの芯は、依然として金に大きく逆風ではない。DXY は 119.491（最新 2026-03-06）で、3 か月 -0.3877%、1 年 -4.9352%。実質金利 proxy（米 10 年名目 - 10 年 BEI）は 1.78%（2026-03-09）で、3 か月 -7.7720%、1 年 -11.4428% と低下基調が続く。米 10 年名目金利も 4.12% へ小幅低下しており、保有コスト面では金に追い風が残る。

ただし今週は、原油高と高ボラ環境が重なった点に注意が必要だ。WTI は 94.65 ドル（2026-03-09）で、3 か月 +66.1401%、過去 3 年 100 パーセンタイルの極端な高水準。VIX は 24.93（2026-03-10）と過去 3 年 96.49 パーセンタイルで不安心理は強い。通常なら安全資産として金に資金が向かいやすい環境だが、今回はインフレ懸念と利益確定売りが勝ち、価格は上値を抑えられた。

⑤ 需給とセンチメント

Precious Metals Combined Sentiment Score Trend



今週の金関連記事は 35 件。上位タグは企業、金融、投資フロー、需給、地政学で、話題は「リスクオフ」「資源コスト」「供給サイド」の混在だった。トピック面では、AI 普及警戒による米株全面安が継続して言及される一方、ジェフリーズによる「高油価が露天掘り金鉱山に重荷」という見方や、地域別投資資金配分の話題が目立った。

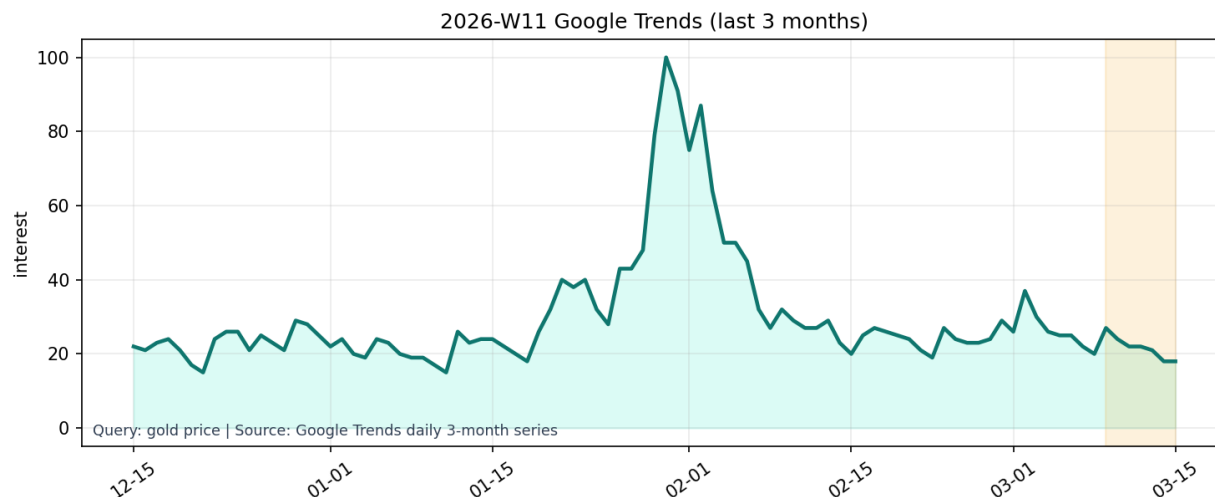
センチメントは週平均で小幅プラスだが、終盤にかけて鈍化した。補正後センチメントの週平均は **0.0443**、最新値は **-0.02**。日次では 3/9 の **0.46** から 3/13 の **-0.25** まで低下しており、価格下落と歩調を合わせて心理も冷えている。生スコア系は依然プラス圏だが、方向性としては「強気一辺倒」から「様子見」に移った週だった。

個人関心もやや沈静化している。検索語 `gold price` の最新値は、3 か月系列で **18**、1 年系列で **29**。1 年系列は前週比 **-17.1429%** で、過去 3 年パーセンタイルも **44.64** と中位圏。前週までの関心拡大に比べると、今週は「高値警戒による見送り」が増えたと読むのが妥当だ。

⑥ 今週の洞察と来週の注目ポイント

今週のポイントは、「価格の調整は進んだが、構造要因はまだ崩れていない」に尽きる。価格は **-2.1563%** 下落した一方、実質金利の低下・ドルの弱含み・非過熱の COT という中期サポートは残存した。相場は弱くなったというより、上昇相場の次段に向けた再評価フェーズに入っている。

先週の注目点を振り返ると、第一の DXY と実質金利は想定通り金の支えとして機能した。第二の「高 VIX が金買いに再接続するか」は未達で、VIX 高止まりにもかかわらず価格は下落した。第三の検索需要とニュースセンチメントは、前週より明確に弱含んだ。つまり、マクロ支援は残りつつも、フロー面の推進力が一段落したのが今週の実像だ。



Source: Google Trends daily 3-month series (`gold price`).

来週の観測点は四つ。第一に、実質金利 1.78% と DXY 低位が維持されるか。ここが崩れなければ、5000 近辺は押し目買いの候補として意識されやすい。第二に、COT ネットロング 98399 が増勢に転じるか。価格反発とポジション拡大が同時に起きれば、トレンド継続の確度が上がる。第三に、WTI 高騰の継続有無だ。原油高がさらに進むとコスト・インフレ懸念経由で金の上値が抑えられやすい。第四に、センチメントと検索需要の底入れ確認である。補正後センチメントが再びプラス域を回復し、Google Trends が切り返すなら、今週の下落は短期調整で終わる可能性が高い。逆に、価格が 5000 を明確に割り込み、センチメントもマイナスで固定化するなら、調整がもう一段深まるシナリオには注意したい。